



◆子どものじよばの発達

お子さんのいるご家庭にとって、子どもの成長は嬉しく、ときに不安なこともあるかと思えます。今回は、子どもの成長の中でも、個人差の大きい『ことば』の発達について考えていきます。

◆ことばの理解の仕組みと関わり

「言える言葉」は、「わかる言葉」の一割程度です。

言葉は、様々な体験を通して、その「体験を表すことば」を理解し、やっと言葉にできます。

つまり、一緒に色々な体験をして、丁寧に声かけをすることで、「わかる言葉」が増え、それが「言える言葉」になっていきます。

「わかる言葉」・「言える言葉」が増えてくると、あとは子どもの「伝えたい！」という気持ちに応じて自然と言葉が出てきます。

***理解を伸ばす関わり方のポイント**

①周囲のおとなが良い聞き手になる。

まずは、子どもの表情やジェスチャー等から、「何を伝えたいのか」や「何に興味があるのか」を読み取ることが重要です。そして、「○○おいしいね。」や

「一緒に○○しようね。」等、言葉にして子どもに返すことで、「わかる言葉」を増やしていきましょう。

②色々な体験をする。

子どもは、お手伝いでほめられたこと、一緒に遊んで楽しかったこと…等、楽しいことや嬉しいことを覚えるのが得意です。家族一緒に、たくさん楽しい体験ができる機会をもちましよう。

③ことばを引き出そうとしない。

発音が気になるからと言いつ直しをさせたり、子どもの興味のないことを無理に教えたりするのは、子どもの自信や、伝えたい気持ちを失くさせる原因になり

るため気をつけましよう。

◆話しことばの仕組みと関わり

正しい発音は、「耳での聞き取りが十分できる」とこと、「発音に必要な筋肉（舌・唇・口まわり）が発達すること」が合わさり完成します。

つまり、正しい発音をたくさん聞くことと、発音に必要な機能を身につけることが重要です。

***発音の機能を伸ばす関わり方のポイント**

①正しい発音を聞く機会を増やす。子どもの発音が気になるときは、周りの大人の話し方にも目を向けてみましょう。良いお手本を聞いてもらうためには、正しい発音でゆっくり話しかけることがポイントです。

②口や体全体を使ってしっかり遊ぶ。

舌や口の筋肉は、舐める・飲む・噛む・歯みがき・うがいをする、といった日常生活の動作を通して培われます。

また、口の筋肉は全身の筋肉の強さにも影響されています。体を使ってしっかり遊び、体の筋肉も強くしましょう。

へお知らせ

◆特定健康診査について

剣淵町国保では、昨年11月末までに特定健康診査を未受診の国保加入者へ、特定健康診査受診券を再発行しています。

今年の3月までの期間、町立診療所にて、事前予約のうえ、受診できます。まだお済みでない方はぜひ受診してください。

また、人間ドック等を受診された方は、検査結果のコピーの提出をお願いしています。健康福祉課保健グループまたは住民課戸籍年金医療グループまでご提出ください。

◆剣淵町不妊治療費助成について

町では、不妊治療を受けている方の経済負担軽減等を目的に、不妊治療費の助成を行っています。

・治療対象
・タイミング法・人工授精による治療(平成24年4月1日以降に治療した方に限る)

・申請期間
平成25年3月中

詳細は、剣淵町広報1月号に掲載していますのでご参照ください。

ふれあい健康センター 保健師